



全国から応募のあった自主映画163点を審査の上、
 厳選したセレクト10作品と招待作品を上映。
 監督や関係者によるトークセッションも予定しています。
 映画の世界に触れ、新しい発見、感動など、新たな自分の世界を広げてみませんか？



2025

3.15日.16日 愛三文化会館 もちのきホール(817席)

13:00~ ※開場30分前 一日フリーパス券1,000円(前売、当日とも)※大学生以下無料

2月20日(土)よりチケット発売

チケット
取り扱い窓口

愛三文化会館、おおぶ文化交流の社、
大府市役所3F文化スポーツ交流課

詳細は
おおぶ映画祭
ホームページ、
SNSにて
チェック!



主催:おおぶ映画祭運営事務局、Future Cinema Project、愛三文化会館、大府市 協賛:KeePer技研株式会社、愛三工業株式会社、株式会社豊田自動織機
 お問い合わせ:おおぶ映画祭運営事務局(愛三文化会館内) ☎0562-48-6151

なんだかんだいっても、
 やっぱり映画が好き!

3.15(土)

たまには蜂蜜を。
 ラストオーダー
 あいのかたち
 ふたりの吉田
 招待作品
 忘れっぽいハムレット
 お母さんごっこ

3.16(日)

フューチャー!フューチャー!
 遠く離れて
 セントキルダ映画祭より招待作品
 映画祭ワークショップイベント作品
 炎色反応
 だめだし
 コミュニティムービー「30」

生きる喜びや今伝えるべきメッセージが込められた、選りすぐりの映画を上映。

3/15(土)

映画の可能性部門

たまには蜂蜜を。
20分 監督:邊 拓耶



台所に朝日が差し込む。冬という事を教えてくれるかのように、お湯を沸かし立ち昇る水蒸気がやかんの注ぎ口からたくさん出ている。いつもの朝の光景...そこへ3年ぶりに弟が帰ってくる。夢を追い家族から離れた弟。想いがゆえに静かに見守ってきた兄。そんな家族を愛で包み込んできた母。それぞれの想いがぶつかる。オープニングからエンディングまで全編ワンカットで挑む愛に満ち溢れたヒューマンドラマ。

oneCut@scene部門

ラストオーダー
10分 監督:乙木 勇人



都内のある場所にある立ち呑み居酒屋は、今日も最後のお客様を見送り閉店の準備をしていた。そこに一人の男性が来店する。彼は3年前にお店でプロポーズをした珍しいお客様だった。しかし彼女はすでに亡くなっていた。定点ワンカットで描く、閉店から始まる再開(会)の物語。

映画の可能性部門

あいのかたち
23分 監督:相馬 衣璃奈



一度離れて暮らし、崩れていくふたつの親子。妻の認知症が酷くなり、一人孤独の中で面倒を見る日常で愛していた妻の愛するというのを見失った男が、最後に妻にしてあげたかったこと。ふたたび、ひとつの屋根の下で離れていた家族が温かい食事をいただく日。

2024部門

ふたりの吉田
29分 監督:岡田 奈津美



人を見下すところがある自信満々な医大生、吉田優は、書店のバイトで同じく新人として働く26歳の短大生、吉田丈也と出会う。丈也を毛嫌いな優だったが、関わりの中で次第に人間として惹かれていく。

映画の可能性部門

お母さんごっこ
39分 監督:三浦 賢太郎



独身生活を謳歌していたアラフィフ女性、涼美の前に産んだ覚えのない実の息子が現れる。それはアイスも溶けるってことで、ねえ、お母さん？

3/16(日)

映画の可能性部門

フューチャー!フューチャー!
25分 監督:真鍋 海里
山本 ヨシヒコ



マコトは、小さな頃から想像力豊かなSF好きの女子高生。ある日、未来からやってきた青年シンイチと出会う。ディストピアとなった未来を救うには、F判定のマコトが大学に入学するしかない。果たして、ふたりは未来を救えるのか!?

2024部門

遠く離れて
37分 監督:黒田 晋平



老齡のこずえは認知症をわずらい、介護施設で暮らしている。そこへよく面会に来ていた息子の啓二。彼はいつしか施設を訪れなくなり、電話で対応を済ませるようになった。こずえの孫娘である紗希はその背景を知っている様子だ。一体何があったのか?

映画の可能性部門

炎色反応
10分 監督:堤 真矢



文化祭の準備期間。クラスでサイエンスショーをすることになり、ジャンケンでチームを組まれた、それまであまり話したことのない高校生3人。アイデア探しのために理科室で炎色反応の実験をしながら、3人はお互いへの憧れや劣等感、そして「自分だけの色」と向き合っていく。

2024部門

だめだし
20分 監督:野田 麗未



12月24日。映像監督を生業にしている純也。年末は忙しく、編集作業に追われている。帰省中の妻から「あれ忘れないうね」という連絡が。純也は娘との約束をすっかり忘れてしまっていた…。聖夜に巻き起こる子育て反省コメディ。

映画の可能性部門

コミュニティムービー「30」
95分 監督:鈴木 七冲



舞台は神戸市長田にある「多世代型介護付シェアハウス はっぴーの家ろっけん」。要介護の高齢者を中心に、小中学生の子どもたち、看護師やヘルパー、アーティスト、生きづらさを感じている若者など、多種多様な人たちが、ごちゃ混ぜに暮らしています。運営するのは30代の若者たち。「遠くのシンセキより近くのタン」。「違和感も3つ集まればどうでもよくなる」「日常の登場人物を増やす」シンプルなコンセプトを大切にしながら、ちょっと世界を面白くする方法を提案しています。本当の「多様性」とは何なのか? 感じてみてください。

【上映スケジュール】 ※各作品の上映後にトークを予定しています。当日の進行により時間が前後する場合があります。

3.15(土) もちのきホール

12:30~	開場
13:00~	「たまには蜂蜜を。」(20分) 「ラストオーダー」(10分)
13:45~	「あいのかたち」(23分) 「ふたりの吉田」(29分)
14:55~	休憩(10分)
15:05~	招待作品「忘れっぽいハムレット」(70分)
16:15~	「お母さんごっこ」(39分)
17:05~	トークセッション/交流
18:00	終演

3.16(日) もちのきホール

12:30~	開場
13:00~	「フューチャー!フューチャー!」(25分) 「遠く離れて」(37分)
14:20~	招待作品・セントキルダ映画祭
14:35~	招待作品「ワークショップイベント」
15:10~	休憩(10分)
15:20~	「炎色反応」(10分) 「だめだし」(20分)
16:05	「コミュニティムービー「30」」(95分)
17:50	トークセッション/交流
18:45	終演

【会場までのアクセス】
愛三文化会館(大府市勤労文化会館)
〒474-0056 愛知県大府市明成町1丁目330番地
TEL:0562-48-6151

